

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

当センター入院中に発症した急性胆囊炎における胆囊摘出症例に関する研究

1. 対象となる患者さん

2014 年 1 月～2025 年 3 月の間に当センター入院中に急性胆囊炎を発症し、胆囊摘出術を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 救急科 大崎 徹

3. 研究の目的と意義

重篤な患者さんは、長期絶食や長期 ICU 滞在などが原因で急性胆囊炎を発症することがあります。一般的には腹痛を自覚することが多いですが、当センター入院中の患者さんは、意識が悪い、人工呼吸器が装着されているなどの理由で腹痛を訴えることができない場合も多く、診断が遅れてより重症化する可能性があります。

この研究は、カルテ情報を解析し、入院中に急性胆囊炎を発症する患者さんの特徴を明らかにすること、急性胆囊炎発症時に腹痛の訴えがある場合とない場合でどれくらい診断が遅れてしまうのかを検討することが目的です。どんな患者さんが急性胆囊炎を発症しやすいのか明らかになれば、急性胆囊炎の早期発見、早期治療に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、解析します。

5. 使用する情報

入院時診断名、年齢、性別、既往歴、入院日、転退院日、ICU 入室日数、人工呼吸管理日数、食事開始日、初回離床日、胆嚢炎発症日、胆嚢炎診断日、胆嚢摘出術施行日、胆嚢炎発症時の腹痛の有無、胆嚢炎の重症度、胆石の有無、CT 画像、血液検査結果などのカルテから得られる情報

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 救急科 大崎 徹

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：k190143@naramed-u.ac.jp